

(6) 第2回検討部会

①実施日時・場所

平成29年9月5日(火) 18:00~20:00 下関市立長府東公民館

②会議の位置付け

夏期に実施した先進地視察、防災講習会について概要報告を行った。また、防災マップ作成上の課題(マップの版形、サイズ、カバーエリア等)や、地図以外に掲載すべき情報等の検討を行った。さらに、この後に実施するまち歩き、及びそれに続く防災マップ原稿作成について工程の確認を行った。



③主な議事内容

●防災マップ先進地視察報告

8月29日(火)~30日(水)に実施した先進地視察の概要について、白木委員より報告。視察から間もないため、本検討部会では概要のみとし、詳細は別途報告書にまとめる(本報告書「第3章 現地調査報告」(P.39)参照)。

◆岡山県真庭市(8月29日)

- ・小学生の参加なし
- ・作成期間は8か月
- ・要援護者に対するシステムが確立
- ・古井戸を災害時の水源として活用
- ・福祉避難所として近隣のホテルと契約

◆岡山県岡山市(8月30日)

- ・海拔0m地帯の事例
- ・大手企業の所有地を避難所に活用
- ・小学生の参加なし
- ・国土交通省・市の支援により優れた防災マップを作成
- ・要援護者に対する体制が充実

●防災講習会の報告

9月3日(日)に実施した防災講習会の概要について、白木委員より報告。

- ・講師：金芳 外城雄(特定非営利活動法人 神戸の絆 2005 専務理事)
- ・テーマ：「阪神・淡路大震災からの教訓」

●防災マップの具体的内容及び作成方法

(防災マップへの記載事項等)

記載事項の前提となる防災マップの大きさ等も含め検討し、以下のように決定した。

検討事項	決定事項
<p>(大きさ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きさとカバーエリアの関係をどうするか。広くカバーするならA1 (A全)、全戸配布ならA4というように、活用法との兼ね合いで考える必要がある。 ・地図の隙間となるエリアをどうするか。 ・紙ベースとするかデータ活用も考えるか、裏面を活用するかどうかでも、望ましい大きさは異なる。 ・各エリアを1枚とし、なるべく避難所(小学校等)が入るようにしたい。 	<p>(大きさ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元の大きさはA0～A1 (A全)程度の大版とする。 ・配布時はA4程度(折ってA4も可)とする。 ・裏面にも情報を載せる。
<p>(記載事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あれもこれも」ではなく、住民の活用在即した防災マップを作成したい。 ・資料にある項目が全て必要か要検討。 ・避難経路を掲載したい。 ・急傾斜地・土砂災害エリアなど、公開に配慮を要する項目をどうするか。 ・要援護者の対応・記載をどうするか。 ・市の避難所とは別に「地元お勧め避難所」を掲載することは可能か？ 	<p>(記載事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きを行い、その際の住民による視点を重視して作成する。 ・資料にある項目は全て残しておき、まち歩きの結果に基づき取舍選択する。 ・避難経路は複数候補(水害時の代替ルートなど)を掲載する方向で進める。 ・要配慮項目はほかすなど配慮する。 ・要援護者は公開版には記載できないので、別途協議・検討することとする。 ・「地元お勧め避難所」を市として直ちに追認することは難しいが、指摘はしてほしい(下関市より)。

(要援護者対応について)

白木委員より「要援護者を含む防災マップは、通常版とは別に作成し、限られた人が持つことで対応すべきか」という問題提起があり、以下のような意見交換が行われた。

- ・自治会や民生委員との調整も必要であり、本年度の事業に含めるのは時間的に無理がある。
- ・それでも、何かしらの取組は始めておきたい。
- ・基本は自治会あるいはより小さい組織(班など)で対応すべき問題。それが無理な場合は、まちづくり協議会や自主防災組織で取り組む必要は生じるかもしれない。
- ・防災に関するシステムを作るのは、やはりまちづくり協議会ではないか。
- ・基本情報を市が保有していることは分かっているので、まちづくり協議会としては、防災対応上、個人名簿を作成するか、要援護者版の防災マップを作成するか、作成したとして誰が所持するか、等が検討課題と思われる。
- ・市の情報は、本人の希望がベースのため、実際はより多くの要援護者が存在すると考えられる。その割り出しはより繊細な問題をはらむので、自治会の福祉委員会をはじめ、地域包括

支援センターや民生委員との協力が不可欠である。

意見交換及び検討の結果、要援護者対応については、原則として本事業における防災マップ作成とは切り離し、自治会（福祉委員会）、地域包括支援センター、民生委員などとも調整の上、話し合いの場を設ける方向で進めることとなった。ただし、そうした経緯や、将来に向け何をすべきかをまとめたものが作成できれば、報告書に掲載することとした。

●まち歩きの方法について

白木委員より次のとおり説明。なお、まち歩き及び原稿作成については、本章「2 防災マップ作成の経緯」（P.37）を参照されたい。

- ・「準備するもの」の表を用意した。これを見ればまち歩きの大まかな手順が分かるようになっている。
- ・まち歩きでは、白地図を画板に載せて、書き込んだり、付箋を貼り付けたりする。
- ・写真撮影も同時に行うが、整理して貼り付けるのは後日で構わない（情報の取捨選択は後日行う）。
- ・1組は5名とする。各自の仕事は「まち歩き役割分担表」として整理した。
- ・メンバーは、町内・町外どちらからの参加者にも一長一短あるが、最低1名は地元在住者（地域を知っている人）を含める。
- ・まち歩きのマニュアルは、現状では特に作成せず、調査者のセンスで進める。
- ・当日のスケジュールを記した「時間割」を用意した。
- ・昼食は自宅に帰ってもよいが、できればミーティングに充てるのが望ましい。
- ・基本的には、1地区を1日で回れると考えているが、雨に備えて予備日を設ける。

●まち歩きの日程及び11月以降の全体工程の確認

スケジュールは、山側・海側は原則として別日とし、まちづくり協議会の役員が可能な範囲で参加する。本日時点で、予定日は以下のとおりとする。

- ・山側地区：9月17日（日）
- ・海側地区：9月18日（月祝）

まち歩き後の防災マップ作成について、スケジュールの概略は以下のとおり。

- ・10月 : ある程度の清書を行い、正式原稿とする
 →基礎調査機関へ正式原稿提出
- ・11月 : 基礎調査機関にてデータ作成
 →まちづくり協議会にて検討・修正箇所指摘
- ・12月 : 基礎調査機関にてデータ修正
 →防災マップ（正式データ）完成
- ・1月中旬まで : 防災マップ作成マニュアルの作成（第3回委員会前までに要完成）
- ・2月末 : 本年度事業終了
 （印刷及び配布は、原則として本年度事業の範囲外とする）

●小中学生の参加について

小中学生の参加については、スケジュールの確定後、まちづくり協議会として学校長に連絡の上、候補者本人に直接、趣旨及び作業内容の説明を行い、協力を要請する。

学校長に候補者の推薦を依頼することも考えられるが、生徒会長などに直接働きかけた方がよいとの意見もあり、学校長とも相談の上でアプローチ方法を決定する。他に、できれば中学生にも参加してほしいとの意見が出された。

●報告書等に関する提案

事務局 岸田より、報告書構成案について次のとおり説明。

- ・第1章には、4月～6月の事業公募・選定経緯等を掲載する。
- ・第2章には、現在進めている検討部会の経緯、防災マップ作成の実務等を掲載する。
- ・第3章には、8月に実施した現地調査の報告を掲載する。
- ・第4章には、本事業における防災マップの考え方や特徴を掲載する。
- ・第5章には、今後の事業継続に向けた課題を整理し掲載する。

(7) 第3回検討部会

①実施日時・場所

平成29年10月18日(水) 18:00～20:00 下関市立長府東公民館

②会議の位置付け

夏期に実施した先進地視察、防災講習会について詳細報告を行った。次に、これまでに実施したまち歩き、及びそれに続く防災マップ原稿作成に基づき、課題や問題点の抽出と、その解決策についての討議を行い、第2回委員会に諮る成果物(防災マップ原稿)についての意思の確認を行った。



③主な議事内容

●防災マップ先進地視察報告

8月29日(火)～30日(水)に実施した先進地視察の詳細について、事務局より報告。内容については、本報告書「第3章 現地調査報告」(P.39)を参照されたい。

●9月3日 防災講習会報告

9月3日(日)に実施した防災講習会の詳細について、白木委員より報告。前回の報告に加え、当日の参加者は103名、下関市役所からも3名の参加があったことが報告された。今後、同種の防災講習会を開催するに当たっては、より参加者の知識を深められるよう、内容を検討していきたいとのことであった。

●マップ作成経過報告

前回の検討部会以降に実施したまち歩きの結果に基づき、危険箇所等を手書きで記入し、さらに注釈を加えた地図を提示し、意見交換を行った。

検討事項	今後の方向性
<p>(マップ記載事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推奨避難路を記載しているが、その避難路も被災する可能性がある。 ・市指定の避難場所に行くまでに、危険箇所を通らなければいけない場合がある。 ・危険地域などは、主に記録に基づき設定したが、住民の記憶も加味したため、主観が入るおそれがある。 	<p>(マップ記載事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あくまでも現状を確認して避難してもらうよう、注記等で明示する。 ・避難所等の表記のしかたや、記載内容を引き続き検討する。 ・ある程度主観が入るのはやむを得ないので、防災マップが絶対ではないという前提の下に進める。
<p>(全体構成・レイアウト等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を2分割(四王司・新四王司・さつきヶ丘/松小田中央)してはどうか。また、注釈等は欄外の方がよいのでは。 ・裏面には何を記載するのか。 	<p>(全体構成・レイアウト等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所が図に入らなくなるなどの弊害も考えられるので、今後レイアウト見本等を通じ検討する。 ・裏面には防災基礎知識、解説等を掲載する詳細は第3回検討部会をめどに整理。
<p>(課題等の扱い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状における災害時の問題点や改善提案をどのように記載するか。 ・課題の整理はよいが、市への要望となると本事業の趣旨とは異なるのでは？ 	<p>(課題等の扱い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題点・改善提案と言うよりも、地域における課題として、別途整理する。 ・本事業の報告とは別に、地域としての課題をまとめ、要望書等のかたちで整理する。

(友松委員)

防災マップは、作成自体が目的ではない。住民の安全・安心を確保することこそが目的であり、災害時に住民が「どう逃げるか」が分かることが重要。したがって、課題等については本事業とは別に、まちづくり協議会として取りまとめることとしたい。

(事務局 岸田)

本事業の報告書に関しては、「課題」すなわち「住民自身が気をつけるべきこと」までは記載すべきと考える。その「課題」の解決に向けた市への「要望」等については、本事業とは別に、まちづくり協議会が対応してほしい。

(村瀬委員)

今回で防災マップのたたき台ができた。内容をよりよくするための検討部会なので、本日はもちろん、今後も引き続き積極的に意見を出してほしい。

●防災マップ編集作業の内容確認と日程

(今後の日程)

- ・本日、防災マップの手書き原稿を基礎調査機関に渡す。
- ・基礎調査機関は11月5日(日)までにデータ化作業を行う。
- ・11月5日(日)につくろう部会を開催、裏面記載内容等の検討を進める。
- ・11月29日(水)をめどに、第4回検討部会を開催する。
- ・両面のデータ完成は12月12日(火)をめどとする。

- ・第3回委員会は2月上旬に開催し、防災マップ及び報告書の承認を得る。

●今後の作業等について

今後の内容作成（主として裏面あるいは欄外に記載する内容）については、作成メンバーを募ることも提案されたが、まちづくり協議会の「つくろう部会」でたたき台を作成し、その後意見交換を行って仕上げていくことで了承された。

また、防災マップの完成後、住民に対する説明会が必要という点も部会内で一致したが、印刷・配布は本事業の範囲外となるため、引き続き検討を行うこととして了承された。

●その他

- ・市のハザードマップ作成について

（下関市）

市は、平成29年度の事業としてハザードマップの作成を進めており、パブリックコメントを募集する予定だが、まちづくり協議会としての意見も欲しい。

（友松委員）

まずはまちづくり協議会の運営委員会に諮ってほしい。

（8）第2回委員会

①実施日時・場所

平成29年10月26日（木）18:00～20:00 下関市立長府東公民館

②会議の位置付け

第1回～第3回検討部会の結果を受け、防災マップづくりの経過及び課題の報告を行った。併せて、先進地視察（現地調査）、防災講習会について委員会に対する報告を行った。第1回委員会と同様、他まちづくり協議会から多数のオブザーバーの参加を得て、活発な質疑応答が行われた。



③主な議事内容

●第1回検討部会報告

白木委員より、以下のとおり第1回検討部会のポイントを説明。

- ・機構からの事業趣旨説明——完成度を高めることよりも、自分たちでやるのが大切。
- ・マップ作成対象地区の選定——山側、海側各1地区を選定。
- ・先進地視察先の決定——機構から上がった候補地14～15地域をマトリクス化し2件を選定。

●説明会（勉強会）の報告

8月17日（木）に下関市防災安全課を招いて開催した説明会（勉強会）について、次のとおり概要を説明（詳細は本報告書「防災マップ作成マニュアル」（P.73）参照）。

- ・市作成のハザードマップに関する説明を実施した。